

# 賃金構造基本統計調査の 匿名データ作成について（案）

# スケジュール (資料6 - 3 参照)

---

## ➤提供開始の目途は、令和4年度中

### ●令和2年11月～3年5月

- 作成方法WGでの検討(3～4回を想定) 適宜、有識者会議で報告
  - ✓検討方針
  - ✓構成割合・クロス表
  - ✓リサンプリング方法
  - ✓作成案(作成方針・審査表)

### ●令和3年5月

- 有識者会議で審議

### ●令和3年夏頃

- 統計委員会において諮問(答申まで3回を想定)

### ●令和4年

- 作成及び提供

# 作成のポイント

---

## ➤ データ構成

- 初回の提供は5年分（平成27～30年、令和元年）
- 調査票情報の構成により、個人単位のデータで提供
- 個人票に事業所情報を付加

## ➤ 項目の提供を判断するための観点

- 令和2年の廃止項目を考慮し、令和元年調査の調査項目をベース
  - ✓ 調査客体の特定の危険性（外部情報、外れ値、しきい値）
  - ✓ 時系列（調査票の変遷）

## ➤ リサンプリング

- 抽出方法
- 割合
- 復元倍率

# 匿名化処理の検討方針

---

## ➤項目ごとに必要な匿名化処理

- 地域
- 年齢
- 時間数
- 金額

## ➤検討方針

- 項目ごとに構成割合を確認
- 検討すべき項目を選定、クロス表で分布を確認
  - ✓「地域」、「産業分類」、「企業規模」、「性別」、「就業形態」、「年齢」、「学歴」を中心
- 個人票に付加する事業所情報
- 経済センサスの結果も用いて確認
- しきい値の設定